

内弟子生活を体験して イエンニ・ラーソン



私はスウェーデンで合気道を十四年間続けてきました。そして今回、小林道場の内弟子として六週間過ごすために、日本へ参りました。来日する以前、日本の内弟子生活は稽古時間も多く、それ以外に掃除やその他の雑用もこなさねばならず、その上朝が早くて、食事や寝る時間がほとんどない等とても大変だと聞いていたので、私は日本に内弟子として来る事を敬遠していました。で

すから、私はスウェーデンにいて合気道の何たるかを理解しようと決めていました。

しかしこの考えは間違っていました。合気道の源泉やその背景を知るには、日本に来て日本を理解することが重要でした。今になると、もっと早く日本に来ていたら良かったのにとおもいます。

私は沢山のことを学びました。今まで何と勉強不足だったのでしょうか！合気道はとてもすばらしいものです。そして、このすばらしさの本当の意味を知る為に、私はすべてを始めからやり直すつもりです。

私達はそれほど多くの仕事もなく、ゲストとして扱われて、少々驚きました。道場の皆さんもとても親切で、好奇心も有って、私達の事を心配してくれました。名所やすばらしい食事、楽しいパーティにも連れて行ってくれました。私たちは美しいお寺や伝統的な橋を見ました。特に温泉が体験できたことは、本当に費沢でした。



新しい友人もたくさんできました。今、日本を去ることが悲しいです。私は必ず日本に戻ってきます！

みなさんは、私達が日本に滞在中、文化や食べ物の違いについて大変心配してくれました。でも、大丈夫。日本の食べ物はとても美味しいです。特に何人かの先生方の自宅に招待されて食べた夕食は美味しかったです。作ってくれた方々に、感謝します！ただし、正直、いくつかのレストランで出されたタンや耳などには往生しました。今度来る時まで「修行」をしておきます。ナットウを除いて…。



日本の文化そのものは実は、スウェーデンのそれとそれ程大きく変わりません。それどころか、日本のメンタリティーは、スウェーデンのそれとかなり似ていると思います。私たちは、少しだけ距離が有りますが、とても友好的です。お互いを知るために、少し時間が掛かると思いますが、その壁を乗り越えればとても親しくなれます。たぶんスウェーデンと日本の文化が似ているからなのでしょう。あるいは合気道の文化が、日本を自分の故郷のように感じさせるからなのでしょうか？

おそらく世界中のどこへ行っても、合気道の人々は同じ様に感じる事でしょう。